

新型コロナウイルス感染症による影響調査（集計結果）③②

3 - 1

沖縄県に適用されていた「まん延防止等重点措置」は21日に解除となり、県の新たな対処方針として3月末までは「感染再拡大抑制期間」として設定されています。現在停止している観光需要喚起策「おきなわ彩発見キャンペーン」など経済対策の段階的な再開も検討される見込みで、今後の明るい兆しへの期待と不安が入り混じります。

組合員のみなさまには毎月度重なる調査にご協力をいただいておりますが、皆様からの生の声が今後の観光業に向けた支援施策をしていくうえでたいへん貴重な資料となりますので、何卒アンケート回答のご協力をよろしくお願い申し上げます。なお、集計データについては、数字のみ活用し、施設名は外部に公表いたしません。

また、ホテル組合ホームページでは、影響調査の集計結果や関連情報を掲載しておりますのでご活用下さい。

令和4年2月 沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合

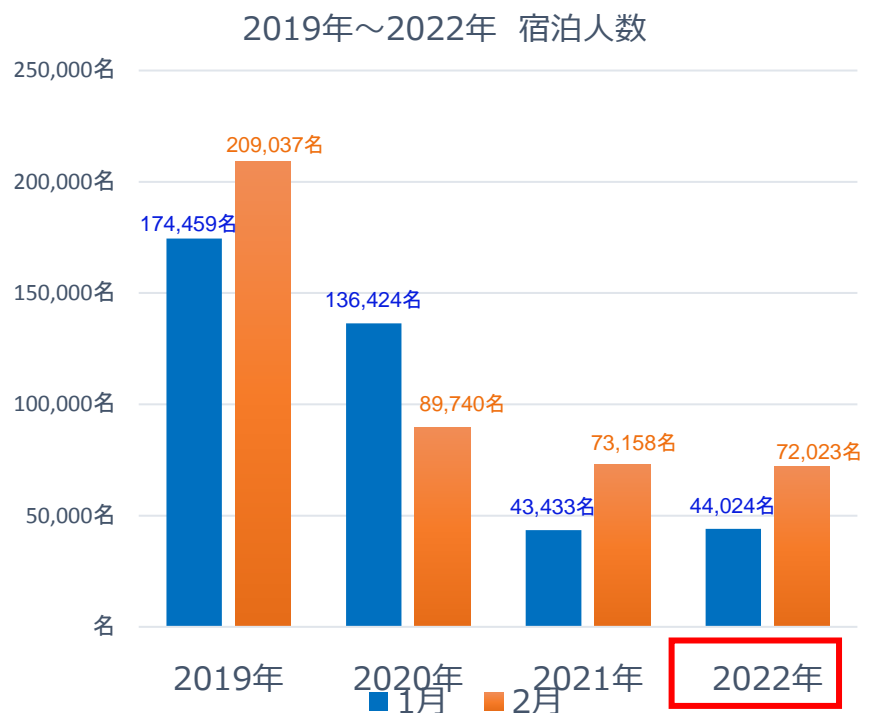
調査対象：298軒 うち回答：29軒（回答率 9.7%）

1. 2月～3月の状況について（過去3年との状況比較）

① 宿泊人数について

2019年2月	2019年3月
174,459 名	209,037 名
2020年2月	2020年3月
136,424 名	89,740 名
2021年2月	2021年3月
43,433 名	73,158 名
2022年2月	2022年3月
44,024 名	72,023 名

2月	3月
2019年対比	2019年対比
▲74.8%	▲65.5%
2020年対比	2020年対比
▲67.7%	▲19.7%
2021年対比	2021年対比
1.4%	▲1.6%



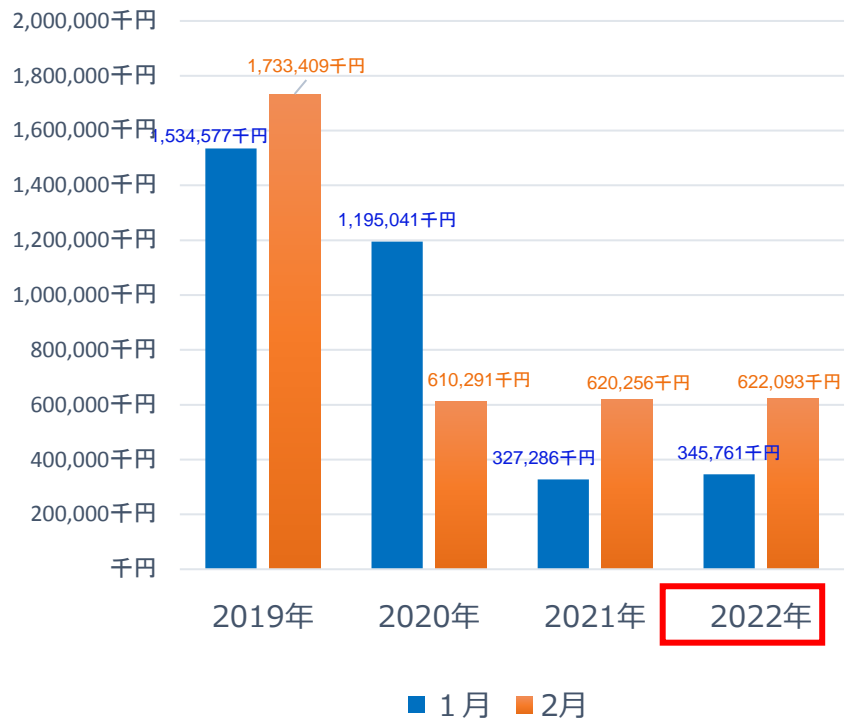
② 売上額について

2019年2月	2019年3月
1,534,577千円	1,733,409千円
2020年2月	2020年3月
1,195,041千円	610,291千円
2021年2月	2021年3月
327,286千円	620,256千円
2022年2月	2022年3月
345,761千円	622,093千円

※ 2施設、無回答

2月	3月
2019年対比	2019年対比
▲77.5%	▲64.1%
2020年対比	2020年対比
▲71.1%	1.9%
2021年対比	2021年対比
5.6%	0.3%

2019年～2022年 売上額

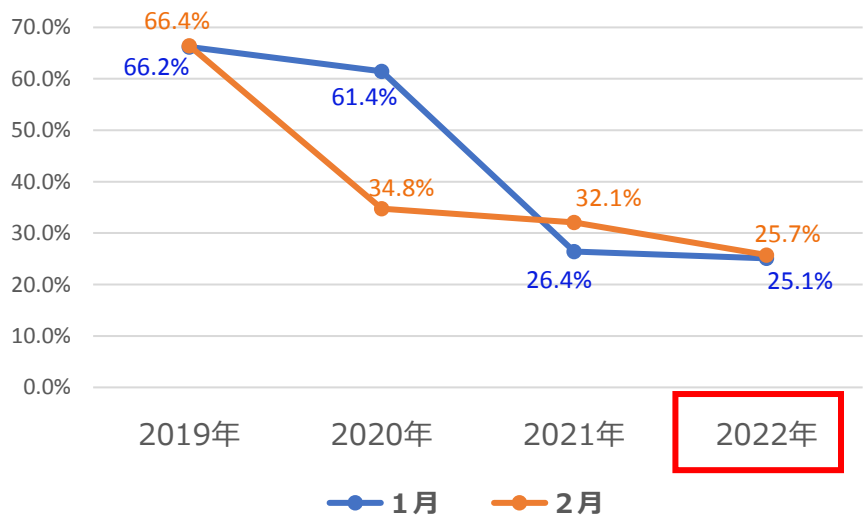


③ 平均稼働率について

2019年2月	2019年3月
66.2%	66.4%
2020年2月	2020年3月
61.4%	34.8%
2021年2月	2021年3月
26.4%	32.1%
2022年2月	2022年3月
25.1%	25.7%

2月	3月
2019年対比	2019年対比
▲62.1%	▲61.3%
2020年対比	2020年対比
▲59.2%	▲26.0%
2021年対比	2021年対比
▲5.1%	▲19.8%

2019年～2022年 稼働率



【コメント欄】

- ・ 2月の数字 = 1月報告時より伸びたのは、解除後の20日以降の伸びです。解除がなければもっと厳しかった。

2. 沖縄県では20日で「まん延防止等重点措置」が解除されましたが、その後の予約状況に動きはありますか？

- ・ 3月はFITが増えてきました。
- ・ まん延防止重点措置が解除され、国内OTAが顕著に伸びている。県外もまん延防止等重点措置が発出されている地域が多く2月は県外需要は低い。県内需要は6割と高い。
- ・ まん延防止対策等重点措置終了後はビジネスのお客様が増えています。観光のお客様は3月よりご予約をお受けしています。
- ・ 若干増加傾向ではあるが、修学寮、スポーツMICEのキャンセルもあり全体ではマイナスとなっている。
- ・ 3/19以降の予約が微増だが伸びた。
- ・ まん延防止解除前よりは予約数が増えた。
- ・ まん延防止が解除され少し動き始めたが、県外からの動きが厳しい。
- ・ ほとんど状況は変わらないが、県内予約がわずかに動き出した印象。
- ・ 春休み頃に多少動きがあるがあまり変わらない。
- ・ 日ハムキャンプの影響もありますが、まん延防止解除後は週末祝日等の稼働が良い。
- ・ まん延防止等重点措置解除前から少しずつ予約が増えるのが例年の3割ほど。4,5月の予約はまだまだ入らず。陽性者と重傷者の増減で予約が左右される。
- ・ 2/20の週に若干の増加がありましたが、その後は3月以降の大きな動きは見えない。3月の3連休だけ少し動きがあるようです。春休みも大きな伸びは望めそうにない。4月末以降のGWに照準を合わせているのかも・・・。
- ・ 宿泊予約に関してはまだ大きく動きはなく、特にゴールデンウィークの予約も鈍い感じがします。おきなわ彩発見のスタートに県内予約の宿泊を期待したい。
- ・ 予約はまた動き始めたがまだ弱く、内地がまん延防止が解除されないと本格的には動かないのではないかと判断している。
- ・ 県全体の集客の6割を占める東京を含めた関東圏で「まん延防止」が適用状況なので、予約の回復に至っていない。また、コロナ禍で料金競争になっており、宿泊人数が昨年度より上回っても売り上げが追い付かない。昨年度の猶予された固定資産税の支払いも始まり、3か月後には制度融資の返済が始まるので、運転資金が回るか不安視される。コロナ禍で被った赤字を行政には埋めていただきたい。（せめて1/3）
- ・ ようやくプラスに転じてきましたが、県内の動きは感じられない。また、沖縄以外とくに関東が解除されない限り厳しい見込み。修学旅行が6月頃までキャンセルが増えている状況。
- ・ まん延防止等重点措置が解除されたものの、現時点で顕著な地元の動きは見受けられず。ただし、3/26以降は微増ではあるが県外からのお客様の受注に期待。
- ・ 単価を下げ稼働をとる動きが続いているので、前後での大きな変化はない。
- ・ 県外の動きがないと、厳しい。
- ・ 特に予約が増えたとは思えない。
- ・ 特に動きに変動はなし。
- ・ 特に増えた感じはしない。
- ・ 特に動きはない、去年よりも動きがない。

5. 組合へのご意見、ご要望などがありましたらご記入ください。

- ・ NHKへの支払いの時限的な免除を要請してほしい。
- ・ 雇用調整助成金の延長、卒業旅行・修学旅行の県内への宿泊アピール。